

平成 23 年度 NBRP-情報-運営委員会 議事概要

開催日時：2011 年 12 月 5 日(月)14:00～16:10

開催場所：情報・システム研究機構 東京連絡所

出席者：田畑委員長、荒木委員、川口委員、小林委員、鈴木委員、長村委員、成瀬委員、仁田坂委員、深海委員、城石委員、菅原委員、山崎委員、落合(松沢委員代理)

欠席者：亀井委員、増井委員

オブザーバー：文部科学省ライフサイエンス課 土屋ゲノム研究企画調整官、同 松村課員(生命科学研究係)、NBRP 森脇推進委員、NBRP 佐藤事務局長、国立遺伝学研究所 鈴木知的財産室長

事務局：研究推進課長、副課長、研究推進チーム

【議題】

報告事項

(1)第2期の活動報告(情報センター)

山崎委員から資料1及び参考資料1及び3に基づき、H23 年度に行った下記の事項に関する活動報告があった。

- ・安定運用(サーバ管理、データバックアップ)
- ・計画停電、節電対策(一部クラウド利用、宮崎大サーバ移行)
- ・データベース&HPの改良、改善(ミヤコグサ、カイコ、マウス、メダカ)
- ・管理システム(ニホンザル、広義キク属、アサガオ、大腸菌)
- ・情報公開促進
- ・成果論文
- ・総合検索サイト機能強化
- ・ワーキング・研究会活動

なお、委員から、情報 HP のトップページにある問合せ先への内容に関して質問があり、山崎先生より、各リソースの提供、依頼に関するものが多数である旨の回答があった。

また、今回の震災(3.11)以降に、下記の対応を行っている旨の報告があった。

- ・ツイッターの開始
- ・Google Docs の立ち上げ
- ・クラウドサーバにトップページのみを掲載

(2) 第2期の活動報告(GAIN)

落合委員代理から資料2に基づき、下記に関する活動報告及び説明があった。。

- ・データベース構築とリアルタイムの表示
- ・個人情報データベースの充実と英語による発信
- ・死体由来・生体由来試料配付
- ・KS: 熊本サンクチュアリ(旧チンパンジーサンクチュアリ宇土)について

その他、血統登録、少子化が進んだ場合の将来的な問題点、海外機関での繁殖状況等について質疑応答があった。

(3) 第2期の活動報告(GBIF)

菅原委員から資料3及び参考資料2に基づき、国際 GBIF と GBIF 日本ノードにおけるそれぞれの活動状況及びその成果、データの報告があった。また「イタドリ」を例に挙げ、他地域への「侵出」可能性の予測について報告があった。

なお、森脇推進委員から、JST で主催していた GBIF 運営委員会との関係性について質問があり、菅原委員から今後は環境省のもと同委員会が開催される予定である旨の回答があった。

(4) その他

NBRP 佐藤事務局長から配布資料に基づき、以下の実施予定について説明があった。

- ・2011.12.13～16(パシフィコ横浜)
第 34 回日本分子生物学会特別企画 NBRP／実物つきパネル展示「バイオリソース

勢ぞろい」

- ・2012.1.20(東京コンファレンスセンター・品川)
NBRP 発足 10 周年記念／NBRP 公開成果報告会

なお、委員から、広報活動に際しセミナー用の ML 活用の提案があり、佐藤局長から検討したい旨の発言があった。

審議事項

(1) 第2期事後評価について

山崎委員から資料4に基づき、全体的に高評価を得たとの報告があった。また、今後の展望として、より質を上げた総合的なデータベースを期待されていることから、この結果を第3期の目標に繋げていきたいとの発言があった。また、将来的には統合 DB プロジェクトなどの他のデータベースやプロジェクトとも連携をとっていけたら良いとの議論があった。

(2) 第3期の計画(情報センター)

山崎委員から資料1に基づき、以下の目標及び計画について説明があった。

- ・持続するシステム
- ・発展するシステム
- ・運用体制について

来年度の運用体制については、現行のもので意見がある場合に、審議事項の最後に議論することとした。

(3) 第3期の計画(GAIN)

落合委員代理から資料2に基づき、以下の計画についての説明があった。

- ・最新情報の更新
- ・個体情報の充実
- ・個体群の管理の提言
- ・英語による発信をもとにした国際化

(4) 第3期の計画(GBIF)

菅原委員から資料3に基づき、以下の計画についての説明があった。

- ・標本・地名・学名・専門家辞書拡充(システマティックなメタデータの作成)
- ・GBIF の新情報システムのサポート
- ・観測情報の充実
- ・生物多様性学コミュニティの醸成

(5) その他

山崎委員から配布資料に基づき、NBRP 総合検索サイト(BRW: BioResource World)の新機能、利用状況、各データを利用して論文からリソースへ導く手法についての説明があった。

その他、第3期の各提案に向けた以下の発言及び意見交換があった。

(情報センター)

- ・第1期にも議論があったインフォーマルなリソースについても情報提供、情報共有ができるとよいのではないか。
- ・退官される先生の持っている情報やリソースも受け取って提供できるようになるとよいのではないか。
- ・27 リソースのコミュニティが個別に見えていない部分を補えるとよいのではないか。
- ・統合 DB プロジェクト、遺伝研 DDBJ センターも含めた連携については、各情報を扱っている人達が公式でも非公式でもよいので集まって情報を共有する機会があるとよいのではないか。

(GAIN)

- ・GAIN 運営委員会において、希少動物の研究者から GAIN のように情報収集することに興味を持っている旨の報告があった。

(GBIF)

- ・JST・CREST において生物多様性系のプロジェクトが進行しているので、今後参考になるのではないか。

・水族館には、動物園とは別の独自の情報ルートがあるので、関係ができれば更に情報の拡充に繋がると思われる。

また委員長から、今後意見、アイデア等があれば、担当に各自連絡をお願いしたい旨の発言があった。最後に森脇推進委員から挨拶があり閉会した。